事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和02年07月02日(木)

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4527
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市警防規程				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	平成１５年６月、神戸市において消火活動中の消防職員４名が殉職した火災を契機に、安全管理面からの指揮体制整備の必要性が指摘され、平成１７年６月に当時の消防力の基準が改正、全国の消防署に指揮隊を配備するよう指針が示された。深谷市消防本部では、平成２０年度に警防課へ指揮隊１隊を配置し、平成２４年度からは、深谷消防署及び花園消防署の２署２隊体制により、災害活動時の安全管理の確保と円滑・効果的な活動を推進している。
目的 ※何のために	災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進するため。
対象 ※誰・何を対象に	市民の生命、身体及び財産。
手段 ※どのように	訓練及び研修会を実施する。
成果 ※何を求めるか	災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 指揮隊災害出場統計の作成	・
・ 指揮支援活動業務	・
・ 訓練及び災害活動時の安全管理	・
・ 災害活動技術の調査研究	・
・ 指揮資器材の維持管理業務	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費相当試算 ※１	777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	
		0	0	0	0	0	
(総事業費試算)		777,900	778,200	786,100	814,800	814,800	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	指揮隊出場件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		104.00	117.00	93.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する２隊以上の活動事案での出場件数							
		出場件数									
■	活動指標２	訓練・研修回数	目標値	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	□
			実績値		12.00	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。）							
		実施回数									
□	活動指標３	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%の資器材点検を目標とする。							
		実施日／３６５日×１００									
□	成果指標１	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率。							
		使用可能数／全資器材×１００									
■	成果指標２	二次災害事故防止率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	98.30	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率。							
		無受傷事故件数／全件数×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 年間訓練計画どおり、訓練を実施することができた。また、車両および車載資器材を通年、点検をすることができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 車載されている全資器材の通常使用可能率を１００%達成することができた。また、指揮隊が出場した災害において、職員の二次災害事故防止率を１００%達成することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	指揮係長　佐々木勝・前川幸弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	平成３１年４月に深谷式新消防戦術が確立され、ペア編成通りにならない場合も想定されるため、瞬時にペアを組み替えられるよう訓練を実施する必要がある。また、職員の受傷事故防止のために安全管理・熱中症予防研修を計画し実施する。
達成状況 及び その効果	年間訓練計画に基づいた訓練や署所間の連携訓練を実施したことにより、現場活動において各隊間の連携強化が図れ迅速な放水体制を確保することができた。また、災害現場活動時に職員の受傷事故はなかった。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4527

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

災害活動時における職員の受傷事故を防止するため、年間訓練計画に基づき、訓練や職場内研修を実施し、安全管理意識の向上を図る。

評価者	花園消防署長兼花園消防課長　太田原　健二

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

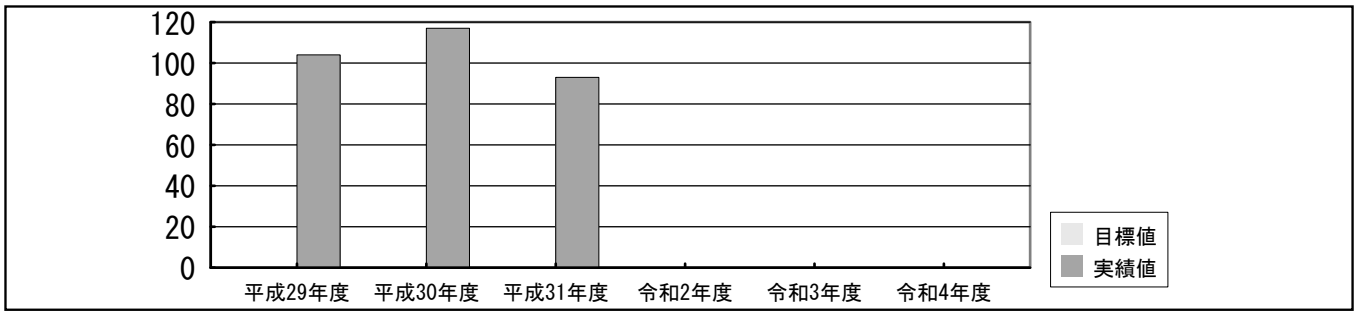
改善・改革案	深谷式新消防戦術が運用開始から１年経過し、課題と検討結果を基に訓練を重ね、各隊の連携率を高めるため、円滑かつ統制のとれた指揮運用を行う。また、災害現場活動時における受傷事故は無かったため、今後も受傷事故が発生しないよう安全管理等の研修を実施することが必要である。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

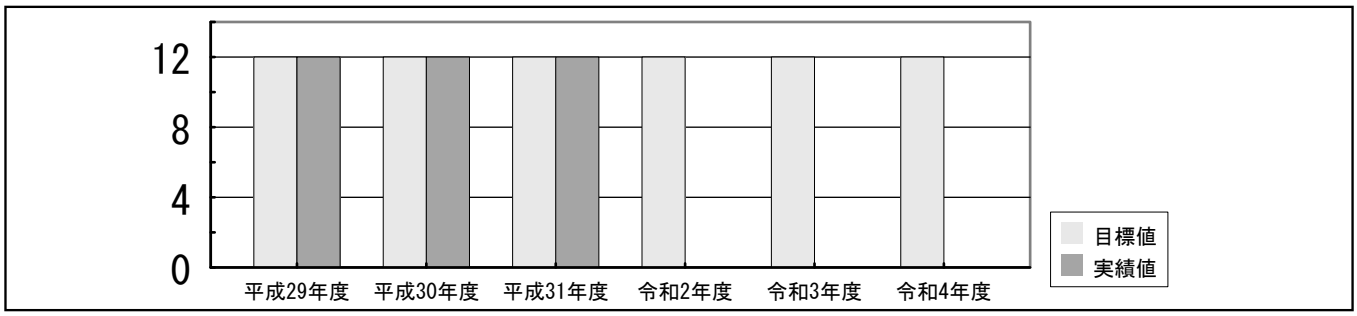
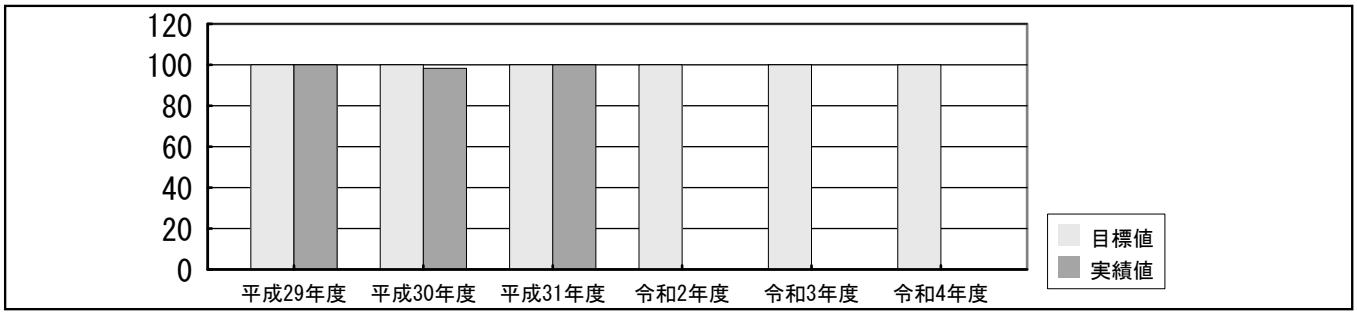
今後の課題	深谷式新消防戦術における各隊の連携活動を高め被害軽減に努める。また、現場活動時や訓練時における受傷事故を発生させないため、安全管理等の研修を引続き計画し、より安全管理の強化を図る必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	指揮隊出場件数（暦年）



区分	活動指標２	指標名	訓練・研修回数



区分	成果指標２	指標名	二次災害事故防止率